



2022年7月13日 一般社団法人日本能率協会 産業振興センター

【報道資料/取材のご案内】

ものづくりエンジニアのための技術開発促進と課題解決の場/生産・製造のデジタルイノベーション

「TECHNO-FRONTIER2022/INDUSTRY-FRONTIER2022」

(テクノフロンティア 2022/インダストリーフロンティア 2022)

2022 年 7 月 20 日(水)~22 日(金)の 3 日間、東京ビッグサイト東展示棟 1~3 ホールで開催 オンライン展は 2022 年 7 月 25 日(月)~29 日(金)の 5 日間開催

一般社団法人日本能率協会(JMA、東京都港区・会長:中村正己)は、2022 年 7 月 20 日(水)~22 日 (金)の 3 日間、東京ビッグサイト東展示棟にて「TECHNO-FRONTIER2022 / INDUSTRY-FRONTIER2022」を開催します。

本展示会は、以下の 16 の専門展示会で構成され、メカトロニクス・エレクトロニクスを構成する要素技術及び設計支援ソリューション、生産・製造向けのデジタルイノベーションをテーマとし、モノづくりの基礎となる要素技術のイノベーションとものづくり現場の課題を解決するソリューションを促す未来のものづくりのヒントを提供します。

専門展示会:

◆TECHNO-FRONTIER2022

「モータ技術展」「モーション・エンジニアリング展」「メカトロニクス制御技術展」「部品設計・加工技術展」「電源システム展」「電子部品材料展」「EMC・ノイズ対策技術展」「熱設計・対策技術展」「開発・設計 DX」「パワー半導体と応用機器展」

♦INDUSTRY-FRONTIER2022

「"つながる工場"推進展」「予兆診断・保全特集」「生産システム見える化展」「工場内物流最適化展」「工場の協働ロボット利活用展」「非接触 Tech」

さらに、オンライン展を 2022 年 7 月 25 日(月)~29 日(金)の 5 日間開催し、主催者の講演ならび に出展者のウェビナーを実施します。

現在、展示会の公式ホームページ(https://www.jma.or.jp/tf/index.html)にて来場者事前登録を受け付けています。なお、本展をご取材いただける報道関係者様は、取材お申込みフォーム(https://www.jma.or.jp/press/index.html)からご登録をお願いいたします。

注目の企画/展示

◆TECHNO-FRONTIER2022主催者企画

人と技術が共存する次世代スマート工場をテーマに「再生エネ・水素」「予兆診断」「人協働ロボット」を テーマにした展示・講演を行います。

(監修:TECHNO-FRONTIER2022メカトロニクス展示企画委員会)

【テーマ】

人と技術が共存する次世代スマート工場

- 1)再エネ・水素を活用したカーボンニュートラル工場
- 2)IoT/AIによる予兆診断が実現する止まらない工場
- 3)人と協働ロボットが創り出す自働化工場



実車展示・給電を行う「トヨタ自動車 MIRAI」

再生エネ・水素では、トヨタ自動車の燃料電池車MIRAIの給電により人協働ロボットを動作させます。 再生エネ・水素を活用したカーボンニュートラル工場を表現します。予兆診断はTHK、ハイウィン、三菱電 機の実機展示と日本精工の解説パネルが、人協働ロボットはファナック、ハイウィン、安川電機、三菱電機の ロボットが、1か所に勢ぞろいします。

<ご協力企業>

トヨタ自動車、ハイウィン、THK、三菱電機、日本精工、ファナック、安川電機、CC-LINK協会、ORIN協議会、豊田中央研究所、パナソニック (敬称略)

<企画特別講演>

★7月22日(金)15:00~16:00 @ ホール1セミナー会場 カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー技術の取り組み ~再生可能エネルギーを有効に利用するために~ 豊田中央研究所 エマージング研究部門 部門長 田辺 稔貴氏



田辺 稔貴氏 豊田中央研究所 エマージング研究部門 部門長

【講演のポイント】

本講演ではエネルギー関連技術の取り組み全体概要、およびいくつかの要素技術について紹介します。 要素技術としては燃焼機器などから排出されたCO2を回収しメタン化して再利用するCO2循環システム、 人工光合成、カーボンフリー燃料として注目されているアンモニアの燃焼技術、二次電池のリュース関連 技術などの紹介を予定しています。

★7月20日(水)15:40~16:30 @ ホール2セミナー会場 パナソニックの水素社会普及に向けた取組み パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 スマートエネルギーシステム事業部 燃料電池事業横断推進室 水素事業企画課 課長

河村 典彦氏 燃料電池事業横断推進室 水素事業企画課 課長

【講演のポイント】

河村 典彦氏

パナソニックは2021年10月に純水素型燃料電池「H2 KIBOU」を発売し、水素を活用した燃料電池の販売をスタートしました。また、今年4月には燃料電池99台と太陽光発電、蓄電池を導入した実証施設「H2 KIBOU FIELD」の稼働を始めました。本講演では、ベースとなる5kW純水素型燃料電池のしくみ、活用方法並びに実証施設の詳細等についてご紹介いたします。

★日刊工業新聞 x TECHNO-FRONTIER 2022

変わる産業のカタチ、持続可能な未来を築く ~イノベーション実現のヒントを探る~

「ロボット」「スマート工場」「半導体」「機械要素部品」「脱炭素」「DX」について経済界・マスコミ・学会の有識者が語ります。

<注目のセッション>

「ロボット」セッションでは、ファナック、安川電機・川崎重工・ABB・ユニバーサルロボットの主要ロボットメーカートップがロボット活用の未来について意見を交わします。

(7月20日(水)11:00~13:00 @ホール1セミナー会場)

「DX」セッションでは、「誰がどう守る?デジタル技術で強化される社会インフラ」をテーマに、応用地質・トラスコ中山・IHIインフラ建設・千代田化工建設から有識者をお招きして、経済ジャーナリスト 内田 裕子氏の司会で社会インフラにおけるDX開発の現状を明らかにします。

(7月22日(金)11:00~13:00 @ホール1セミナー会場)

★日経BP x TECHNO-FRONTIER 2022

フォルクスワーゲン新型EV(電気自動車)「ID.3」&トヨタ新型FCV(燃料電池自動車)「MIRAI」の分解調査

テーマは「現在のモビリティー技術から未来を見据える」。 新型EV「ID.3」、トヨタ新型FCV「MIRAI」の分解調査結果を調査に携わったメンバーが解説します。

7月20日(水):フォルクスワーゲン新型EV「ID.3」

7月21日(木):トヨタ新型FCV「MIRAI」





★実車展示 上海蔚来汽車(NIO)ES8

中国新興自動車メーカーとして人気を誇る上海蔚来汽車(NIO)。高い自動車運転技術・高級モデルをラインナップし、「中国版テスラ」と呼ばれています。会場では注目の実車を展示します。







<開催概要>(2022年7月13日現在)

17.15 11-17.05 4	<u> </u>
名 称	TECHNO-FRONTIER2022/INDUSTRY-FRONTIER2022
主 催	一般社団法人日本能率協会
開催期間	2022年7月20日(水)~22日(金) 10:00~17:00
会 場	東京ビッグサイト 東展示棟1~3ホール
展示規模	301社/538ブース
同時開催	メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2022 第8回 東京 猛暑対策展 第9回 東京 労働安全衛生展 / 第1回 東京 騒音・振動対策展
入場料	無料/完全事前登録制 ※同時開催展示会は、再登録なしで相互入場可能
URL	https://www.jma.or.jp/tf/

取材のお申込みについて

ご取材にあたってはプレス登録が必要です。円滑な入場手続きのため、<mark>事前のプレス登録</mark>へのご協力をお願いします。

※プレス登録いただいた方には、「プレスバッジ」「会場案内図」「取材に際してのお願い」をお渡しします。

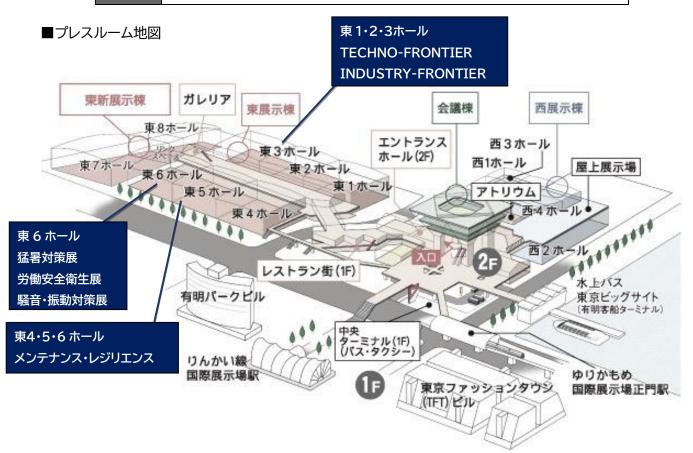
事前登録:「取材お申込みフォーム」からご登録ください。 https://www.jma.or.jp/press/ 当日登録: 取材前にプレスルームにて受け付けます。

※プレス登録は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web 媒体などの取材/編集/報道に関わる方が対象です。 報道機関の広告・営業部門、広告代理店、マーケティングリサーチ会社の方はご遠慮いただいております (上記の方は、一般登録でご入場いただけます)。ご理解の程、よろしくお願い申しあげます。

一般登録申込フォーム: https://www.jma-onlineservice.com/7all/jp tfif/registration.php

■プレスルームの開設日時、場所

開設日時	2022年7月20日(水)~7月22日(金)9:30~17:00
場所	東京ビッグサイト 東展示棟 1 ホール 2 階 商談室(3)



なお、オンライン展のご視聴につきましても、別途「取材お申込みフォーム」のご登録をお願いいたします。

【展示会の内容に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 TECHNO-FRONTIER事務局 担当:飯田·森·宇佐美〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

TEL: 03-3434-0587 E-mail: tf@jma.or.jp